

フットフットマガジン7月号

三井不動産蹴球倶楽部



初帝王覇!

三井不動産蹴球倶楽部が、4ステージ目にして眞の実力を披露した。参入した4月以来、昇降格を繰り返してきた三井だが、心機一転臨んだ今ステージでは粘り強く白星を重ねた。初戦でボアソルチを終了4秒前にあげた決勝ゴールで退けると、2節目以降も2点差以内の接戦を次々とものにして全勝優勝を果たした。チームの得点源である富山は勝負所で7得点をあげ、チームを牽引し得点王に輝いた。

また、今ステージは降格争いもし烈を極めた。前回王者のボアソルチが、最終日を残して自力での残留が望めない状況となつたが、アドバンスの連敗で最終戦の直接対決に運命が委ねられることとなつた。試合はボアソルチが残り1分で突き放し薄氷の勝利。辛くも残留を決めた。ディビジョン2を全勝で制したFC・d miniも昇格し、迎える8月ステージも熱い戦いが繰り広げられそうだ。

